

科目名	経済史・思想入門 History of Economics						
科目担当者	萩原 駿史 HAGIHARA Toshifumi						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	<p>経済史・思想入門では、経済学と経済思想の歴史を研究する経済学史・経済思想をテーマとして取り上げて解説していきます。</p> <p>現在の経済理論は様々な学説を経て成り立っています。それらの学説ひとつひとつが、それ以前の学説に加え、その時代の社会や思想に影響を受けて形成されたものです。したがって、経済学の歴史をその時代背景を踏まえつつ時代の流れに沿って解説していきます。</p> <p>授業では、テキストを用いて、板書を中心に進めていきます。</p>						
授業の到達目標	<p>① 古典派経済学の形成と確立の流れを理解できるようになる。</p> <p>② マルクス経済学の特徴を理解できるようになる。</p> <p>③ 新古典派経済学の特徴を理解できるようになる。</p> <p>④ 資本主義と市場形態の経済理論への影響を理解できるようになる。</p> <p>⑤ ケインズ経済学の特徴を理解できるようになる。</p>						
授業計画・内容	1	授業の進め方					
	2	重商主義と重農主義					
	3	アダム・スミス 富と分業					
	4	マルサスとリカード (1) 人口論					
	5	マルサスとリカード (2) 比較優位の原則					
	6	マルクス経済学 労働価値説					
	7	新古典派経済学 (1) 限界革命					
	8	新古典派経済学 (2) 一般均衡理論					
	9	ウェバーとシュンペーター (1) 資本主義とは					
	10	ウェバーとシュンペーター (2) 資本主義の動態性					
	11	市場と制度 (1) 完全競争論					
	12	市場と制度 (2) 不完全競争論					
	13	ケインズ経済学 (1) なぜ失業者が現れるのか					
	14	ケインズ経済学 (2) 有効需要の原理					
	15	まとめ					
授業外学修 (事前学修)	<p>テキストの該当箇所を熟読し、自分で分かる箇所と分からない箇所を区別できるようにしておいてください。また分からない箇所については、自分で可能な範囲で調べた上で、講義で質問できるように準備をしておいてください。(毎週 2 時間程度)</p>						
授業外学修 (事後学修)	<p>講義で学んだことを振り返り、疑問点が解消したかを確認しながら理解を深めてください。(毎週 2 時間程度)</p>						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応
	定期試験				100%		①,②,③,④,⑤
成績評価基準	<p>秀：(評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：(評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：(評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：(評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：(評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合</p>						
教科書	井上義朗『コア・テキスト 経済学史 (第 2 版)』(新世社, 2004)						
参考文献							
その他							